

市町村名		金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		1 - ぶなしめじ6次産業化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (7) - イ	
担当部課名		産業振興課		事業実施（予定）年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興	
事業内容		付加価値向上と販路拡大により、林業及び商工業の振興を図るため、町内で年間約260トン生産させる「ぶなしめじ」の加工品開発を行う。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算の状況	(a)当初予算額		10,000			
			(b)予算現額		10,000			
			(c)増減額(b-a)					
			(d)繰越額	-				
			A.計(b+d)		10,000			
		B.執行済額			9,759			
		うち交付金充当額			7,807			
		次年度繰越額						
		執行率（％）(B/A)			97.6%			
予算の状況の説明		・不用額が240千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況		H25活動目標（指標）		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		ぶなしめじ加工品開発の実施	目標	()	(2種類)	()	()	
			実績		2種類			
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	・加工品開発を2種類実施し、目標を達成した。							
成果目標（指標）及び進捗状況		H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
		ぶなしめじ加工品開発数	目標	()	()	(2種類)	()	()
			実績			2種類		
		〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
			実績					
		進捗状況説明	・加工品開発を2種類実施し、目標を達成した。 ぶなしめじのピクルス（ぶなしめじ、野菜入り酢漬け物：瓶詰） ぶなしめじのパエリアの素（ぶなしめじ、野菜入りパエリアのソース：レトルトパック）					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・夏場は、ぶなしめじ等のきのこ類需要低迷期である。 ・ぶなしめじの生産を行う際に発生する、販売規格外品の有効利用が必要である。	・需要低迷期に作用されない、加工品開発が必要となる。 ・規格外品の有効利用を行い、加工品の販路拡大につなげる。
今後の取り組み方針		
・付加価値のぶなしめじの加工品を、年間を通して町内でも販売されるように、営業活動を充実させ販路拡大に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,759</td><td>9,759</td><td>7,807</td><td>1,952</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,759	9,759	7,807	1,952	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,759	9,759	7,807	1,952											
金武町 9,759千円 → 委託料 9,759千円 → 株式会社 オーダック 9,759千円 (加工品開発業務委託)														
資金 使途の 流れ、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - ウォーキングコース等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 - 1 - (1)	
事業内容	金武地区公園内等にゴム状のチップ舗装を整備し、陸上競技大会の開催や、県外大学合宿等の誘致を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a) 当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b) 予算現額		65,763			
		(c) 増減額 (b-a)					
		(d) 繰越額	-				
		A . 計 (b+d)		65,763			
	B . 執行済額			62,055			
	うち交付金充当額			41,587			
	次年度繰越額						
	執行率（％）(B/A)			94.4%			
	予算の状況の説明		当初予算額と執行済額の差額は入札残金である。				
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ウォーキングコースの整備面積：約1,350㎡	目 標	(901㎡)	(1,350㎡)	()	()	
		実 績	901㎡	1,350㎡			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当該遊歩道については、路面が固く、足・膝・腰に負担をかけている状況があり、利用者にやさしい遊歩道整備が必要とされていたが、ゴム状のチップ舗装を新設することにより町内、また町外の誘客が図られた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等整備実施率：100%	目 標	()	(40%)	(100%)	()	(100%)
		実 績		40%	100%		
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	当該遊歩道については、路面が固く、利用者の体に負担をかけている状況であったが、ゴム状のチップ舗装を新設することにより健康づくりのためのウォーキングや各種スポーツ競技のウォーミングアップの練習場として誘客が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該事業において遊歩道を整備し、健康づくりのためのウォーキングや各種スポーツ関係のウォーミングアップなど様々な形で利用が図られているが、利用者が安全に利用できるよう管理が必要である。	経年劣化による補修等や遊歩道周辺における芝管理など、安全面や景観面等で十分な管理を図り、今後の利用向上に努める。
今後の取り組み方針		
整備した遊歩道が十分に機能を果たし、町内外の利用者に幅広く活用されるよう点検や補修、その他維持管理等を含め今後の利用向上に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62,055</td><td>62,055</td><td>41,587</td><td>20,468</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	62,055	62,055	41,587	20,468	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
62,055	62,055	41,587	20,468											
金武町 62,055千円 委託料(設計業務) 3,255千円 (有)国誠測量設計 3,255千円 ウォーキングコース等整備工事にかかる実施設計業務 工事費 58,800千円 (有)神中組 58,800千円 ウォーキングコース等整備工事														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 工事業者の選定については金武町建設工事競争入札参加者資格審査委員会において業者を選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 予算規模については、積上する際に基準書や歩掛を参考に積算しているため適正であったと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		金武町							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		3 - 金武町雇用対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所				
担当部課名		産業振興課			第3章 - 3 - (10) - ア				
		事業実施（予定）年度 平成 2 5 ～ 2 9 年度			雇用対策と多様な人材の確保				
					沖縄振興基本方針該当箇所 - 2				
事業内容		ゴンバル訓練場跡地利用に係る人材を進出企業等へ雇用を促進するため、進出企業等が町民を雇用した場合の研修費用等を支援する。							
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		予算の状況	(a)当初予算額		10,000				
			(b)予算現額		10,000				
			(c)増減額(b-a)						
			(d)繰越額	-					
			A.計(b+d)		10,000				
		B.執行済額			5,244				
		うち交付金充当額			4,195				
		次年度繰越額							
		執行率（％）(B/A)			52.4%				
予算の状況の説明		・不用額が4,755千円発生しているが、精算払によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。							
活動目標（指標）及び達成状況		H25活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		雇用・人材育成委託：町民雇用5名	目標	(-)	(5人)	(5人)	(5人)		
			実績	-	5人				
			目標	()	()	()	()		
			実績						
達成状況説明	・雇用户5人への研修等を行い、活動目標が達成した。								
成果目標（指標）及び進捗状況		H25成果目標（指標）		基準値（25年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（29年度）	
		雇用・人材育成委託：町民雇用5名	目標	(5人)	()	(5人)	(5人)	(25人)	
			実績			5人			
		〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()	
			実績						
		進捗状況説明	・雇用户5人への研修等を行い、成果目標を達成した。 研修期間：平成25年10月～平成26年3月（学校法人 智晴学園） 研修期間：平成25年9月～平成26年3月（株式会社 佐喜真義肢）						

市町村名	金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	小中学校学習等支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (3) - ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 - 3 - (1)	
事業内容	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	32,278	29,161			
		(b)予算現額	31,013	27,553			
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,265	▲ 1,608			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	31,013	27,553			
	B.執行済額		19,552	23,296			
	うち交付金充当額		15,641	18,636			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		63.0%	84.5%			
予算の状況の説明		ALTについて、人材確保が困難だったため年度当初からの採用ができず、不用額が発生した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学習支援員配置数	目 標	(小学校:7人 中学校:8人)	(小学校:7人 中学校:6人)	()	()	
		実 績	小学校:7人 中学校:8人	小学校:6人 中学校:5人			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	平成25年度において小学校に学習支援員4名、IT講師1名、ALT1名を配置。中学校には学習支援員4名、ALT1名を配置した。学校側が急遽、非常勤講師の配置を求めたため、教育委員会は、学習支援員に代わり非常勤講師を配置したため、学習支援員の配置人数は、目標値に届かなかったが、児童・生徒に対し、きめ細やかな学習支援を行うとともに、学習環境の充実に寄与した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率: 小学校A問題(国語・算数)69%(H23)→70%(H25) 中学校A問題(国語・算数)49%(H23)→50%(H25) 小学校B問題(国語・数学)31%(H23)→32%(H25) 中学校B問題(国語・数学)35%(H23)→36%(H25)	目 標	()	()	(左記のとおり)	()	()
		実 績			小学校A問題 57.5% 中学校A問題 56.1% 小学校B問題 40% 中学校B問題 42.1%		
	[参考指標]		目 標	()	()	()	()
			実 績				
	進 捗 状 況 説 明	学習支援員等を配置することで、中学校においてはA・B問題ともに成果目標を大幅に上回った。小学校においては、目標値よりも低くなっているが、全国平均も低下している状況であり、本町の平均と全国平均の差においては縮まった。今後はさらに全国との差が縮まることが期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・学習支援員は教員志望者が多く、7月の採用試験終了までの間は、人員の確保に時間を要する。 ・IT講師については情報教育の授業支援やICT機器の操作方法の指導等が主となっているが、電子黒板を全学級に設置していることも踏まえ、パソコン操作だけでなくシステム等についても知識を有する人材が求められる。	・早い段階での人材確保及び既存の支援員の継続依頼を検討する。 ・IT講師については、今後は校内LANやICT機器のメンテナンスも追加したい。ただし、この場合、高度な専門知識が必要となり、現在よりも人材の確保が困難になることが予想される。
今後の取り組み方針		
広報等を通じて募集を告知することで人材を確保し、年間を通じて適切な支援員の確保に努めたい。また、IT講師の業務は現在個人委託しているが、知識を有する外部専門業者に委託することも検討する。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
金武町 23,296千円 報酬 15,246千円 学習支援員 8名 15,246千円 人件費に係る報酬 委託料 6,036千円 ALT 3,674千円 ALT 2,362千円 講師委託料 講師委託料 委託料 2,014千円 IT講師 2,014千円 講師委託料				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		23,296	23,296	18,636
				市町村負担金
				4,660
				交付対象外経費

資金の流 れ、点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	広報等で広く募集し、面接のうえ採用した。 嘱託員要綱及び財務規則に基づき、適正に支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (1) - ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 - 3 - (1)	
事業内容	子育て環境改善を目的に嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a) 当初予算額	5,976	5,806			
		(b) 予算現額	5,976	5,806			
		(c) 増減額 (b-a)					
		(d) 繰越額	-				
		A . 計 (b+d)	5,976	5,806			
		B . 執行済額	5,969	3,545			
		うち交付金充当額	3,216	2,835			
		次年度繰越額					
		執行率（％）(B/A)	99.9%	61.1%			
	予算の状況の説明	当初預かり保育を3クラスで予定していたが、小学校に兄弟がいる世帯においては、園児を小学生の兄弟と一緒に学童保育に預ける世帯もあり、預かり保育を希望する園児が予定より少なかったため、嘱託員2名分の執行となった。 なお、夏休み等長期休業中においては、保育時間が通常より長くなるため(8時30分から18時まで、通常は13時から18時まで)、臨時的に1名を増員し、3名体制で預かり保育を実施した。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	預かり保育支援員 幼稚園：3人	目 標	(3)	(3)	()	()	
		実 績	3	2			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	共働き世帯の子育て支援を目的に金武幼稚園で午後6時まで預かり保育を実施。少人数のなか、落ち着いた保育を実施することができ、共働き世帯の子育ての支援を実施することができた。 当初預かり保育を3クラスで予定していたが、小学校に兄弟がいる世帯においては、園児を小学生の兄弟と一緒に学童保育に預ける世帯もあり、預かり保育を希望する園児が予定より少なかったため、嘱託員2名の配置となった。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	預かり保育児童数	目 標	()	(75)	(50)	()	()
		実 績		59	43		
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	預かり保育を実施することで、共働き世帯の子育て支援を行うことができた。今後についても保護者のニーズが見込まれることから、継続して実施したい。 預かり保育園児数については、学童保育等に兄弟を預けているため、園児も一緒に学童保育に預ける世帯もあり、預かり保育を希望する園児が目標人数に達しなかったが、落ち着いた環境の中、預かり保育を実施することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現在、預かり保育の終了時間は午後6時となっているが、現況で父母のニーズに合った事業が実施できているかどうか検証する必要がある。	学童保育が午後6時30分まで保育を実施していることや、現在の社会情勢や住民ニーズを鑑みると、保育時間の延長も視野に入れなければならないが、一方で、園児の体力面や家族で過ごす時間等を考えると、現状のまま継続するという意見もある。
今後の取り組み方針		
保育時間延長を検討しながら事業を実施し、共働き世帯がより安心して子育てに取り組めるよう努める。 また、学童保育を所管する部署との連携強化を図る。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,545	3,545	2,835	710	

金武町
3,545千円

→

報酬
3,545千円

→

預かり保育
嘱託員
(2名)
3,545千円

(人件費に係る報酬)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	広報等で広く募集し、面接のうえ採用した。 嘱託員要綱及び財務規則に基づき、適正に支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	特別支援教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (2) - ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備		
事業内容	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の学習生活、学校生活等の困難の改善と克服を目的に教育を支援し、適切な指導及び支援を行い、学力向上に資する。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	8,743	27,331			
		(b)予算現額	8,743	27,331			
		(c)増減額(b-a)					
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	8,743	27,331			
	B.執行済額		7,229	24,218			
	うち交付金充当額		5,783	19,374			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		82.7%	88.6%			
予算の状況の説明		概ね事業計画どおりに執行したが、12月に1名の欠員がでたほか、採用者は大学卒を予定していたが、実際は高校卒業であり報酬に差があったため不用額がでた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	特別教育支援員配置数	目 標	(幼稚園4人 小学校10人 中学校1人)	(幼稚園4人 小学校10人 中学校1人)	()	()	
		実 績	幼稚園6人 小学校9人	幼稚園4人 小学校10人 中学校1人			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒を支援することで、学習生活、学校生活等の困難を改善することができた。 配置人数についても目標人数を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	特別支援教育支援員充足率:100% (要支援者20名のうち20名支援) 充足率は要支援者に対し、配置している支援の割合としています。	目 標	()	(100%)	(100%)	()	()
		実 績		100%	100%		
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	支援を要する園児・児童・生徒に対し、適切な人数の支援員を配置することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	支援を要する児童・生徒等が年々増加しており、今後も増加が見込まれる。早い段階で支援することで、障害の程度の改善を図ることが必要である。また、幼稚園、小学校、中学校との間で支援員同士の情報交換や連携についても検討が必要である。	障害の程度に応じた適切な支援員の配置が必要である。早期で「気になる点」を発見し、適切な指導のもと、改善を図る。幼稚園・小学校・中学校間で連携することで、要支援者の現状を共有し、スムーズな支援体制を構築する。
今後の取り組み方針		
明確な支援員配置基準を作成し、適切な人員を配置する。 特別支援教育推進員と連携し、早期発見に取り組む。 学校間で連携することで、情報を共有し、児童・生徒の障害の改善を図るとともに、学習生活や学校生活がスムーズに送れるようきめ細かな支援体制を構築する。		

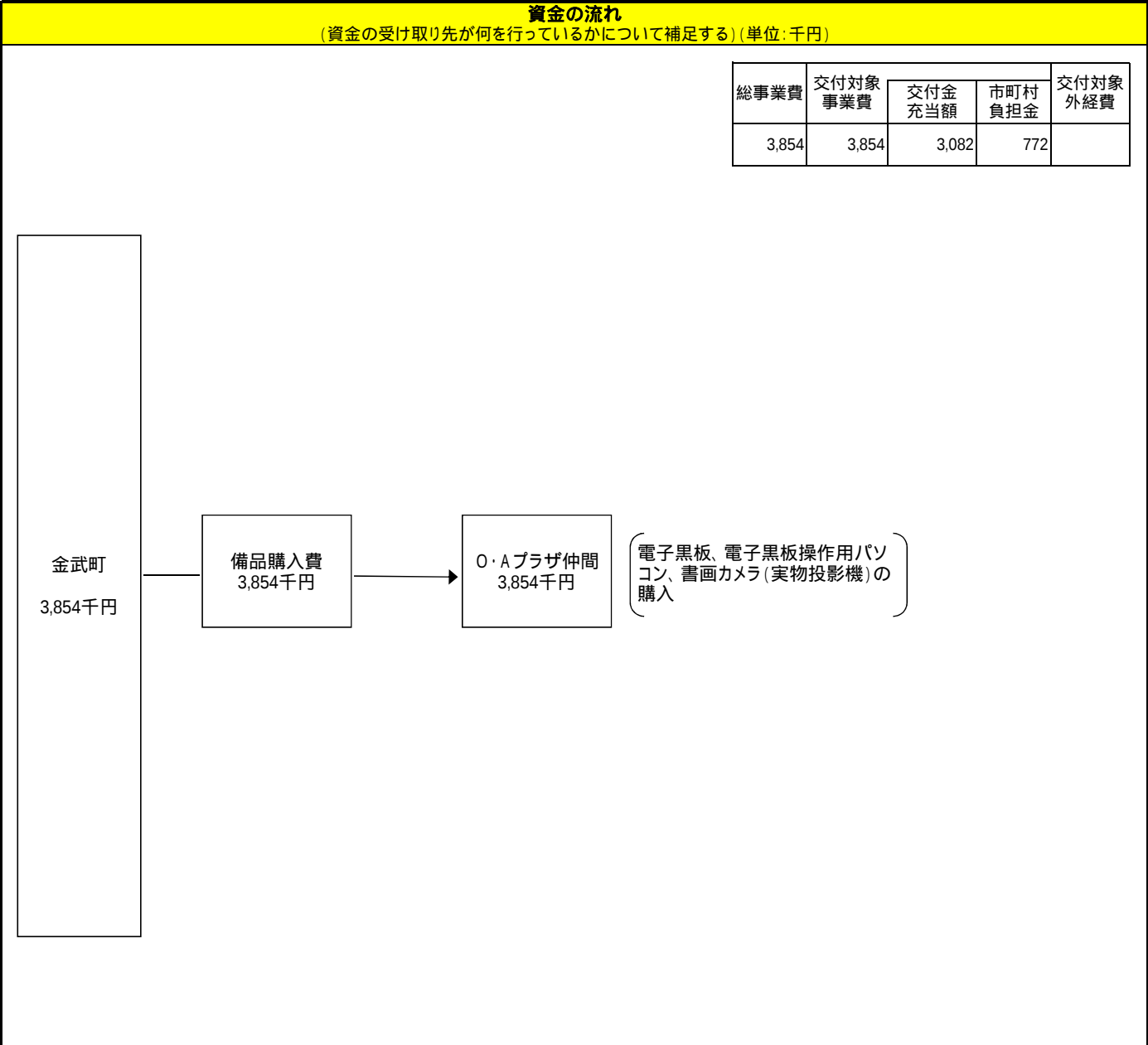
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)										
		総事業費	交付対象 事業費	<table><tr><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>24,218</td><td>19,374</td><td>4,844</td></tr></table>	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	24,218	19,374	4,844
交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費								
24,218	19,374	4,844								
金武町 24,218千円 → 報酬 24,218千円 → 特別支援教育 支援員 (15名) 24,218千円 (人件費に係る報酬)										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明						
	○	支出先の選定方法は妥当か。		広報等で広く募集し、面接のうえ採用した。 嘱託員要綱及び財務規則に基づき、適正に支出した。						
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。								
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。								
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								

市町村名	金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	金武中学校・米国ハワイ州カボレイミドルスクール姉妹校交流事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (4)-ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	平成 2 5 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 - 3 - (1)	
事業内容	国際的な視野を持つ、国際性豊かな人材育成を図るため、2年に一度中学生10名をハワイの姉妹校へ派遣し、異文化での日常生活・学校生活の体験を通した本格的な英語の習得に向けて、海外姉妹校との交流を行う。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A . 計 (b+d)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
				4,472			
				4,472			
	B . 執行済額			3,486			
	うち交付金充当額			2,788			
	次年度繰越額						
	執行率（％）(B/A)			78.0%			
	予算の状況の説明		不要額が発生しているが、当初計上予定していた引率の日当等については町の自主財源から負担することになったためである。				
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	報告会の実施 （交流報告会、広報への掲載等）	目 標	()	(報告会の実施)	()	()	
		実 績		報告会の実施			
	テレビカメラによる交流の実施	目 標	()	(テレビカメラによる交流の実施)	()	()	
		実 績		テレビカメラによる交流の実施			
	達成状況説明	・金武町教育の日において町民に対し、交流の様子を報告。また、交流報告パネル展を役場や公民館などで実施。 ・月に1回程度、始業前にテレビカメラによる交流を実施。					
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（25年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（34年度）
	国際交流への中学生参加数	目 標	(10人)	(—)	(10人)	()	(50人)
		実 績		—	10人		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	募集人数10人に対して、13人の応募があり、選抜試験において10人を選考した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・姉妹校との相互訪問の期間について、相手校からは交流期間の延長の要望がある。 ・相互訪問時の交流プログラムの内容について、さらなる充実が図れるよう検討する。	・訪問期間の延長については、受入するホストファミリーの負担増加にも繋がるので、メリット、デメリットも考慮し、検討していく。 ・相互訪問時の交流プログラムについては、学校だけではなく地域も連携した交流もできるかどうか等も含めて、学校側と教育委員会で調整が必要である。
今後の取り組み方針		
相互訪問に伴う実施期間及び交流プログラムの内容について、予算等も考慮しながら検討していく。		

市町村名	金武町							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4 -	ICT教育備品整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (4) - ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築			
					- 3 - (1)			
事業内容	児童・生徒への情報教育を推進し、学力向上を図るため、IT教室へのパソコンの整備、各教室へ電子黒板等を整備する。							
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(b)予算現額		5,556				
		(c)増減額(b-a)						
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)		5,556				
	B.執行済額	うち交付金充当額		3,082				
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)		69.4%				
	予算の状況の説明	当初計画に変更があったものの、適正に事業を実施できたと考えている。 入札残額及び事業内容の変更に伴い、1,672千円の剰余金が発生した。						
	活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度		
電子黒板整備 小学校:4台		目 標	()	(4 台)	()	()		
		実 績		3 台				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	当初は、電子黒板及び周辺機器を各4台ずつ整備予定であったが、実際は同機器を各3台ずつ購入 整備台数減少の理由としては、学級の新設を見込んでいたが、沖縄県の認定が受けられず、学級設置がなかったことによる							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	学級数における充足率:96.8%	目 標	()	()	(96.8%)	()	()	
		実 績			96.8%			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	電子黒板がなかった学級に同機器を整備したことで、授業内容の充実が図られた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	町内小・中学校の各教室に電子黒板を整備し、効果的な授業が行える環境を整えることができたことにより、わかる授業の実践につながったほか、情報教育の充実に資することができた。	今後は、電子黒板で活用できるデジタル教材を整備することにより、さらに電子黒板を活用した質の高い教育を行うことが可能になると考えられる。
今後の取り組み方針		
必要に応じて、デジタル教科書の追加整備や、デジタル教材の導入についても検討していく。		



資金の流 れ、費 用・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	購入業者は、指名競争入札により決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 -	金武町青年海外派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 4 - (1) - イ	
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界との交流ネットワークの形成 - 7	
事業内容	国際交流機会の増加促進に寄与するため、本町の青年を海外に派遣し、本町と海外移住国との有効親善関係及び人材育成の推進に寄与することを目的としている。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額	1,815	1,980			
		(c)増減額(b-a)	1,815	1,980			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	-	-			
	B.執行済額		1,815	1,980			
	うち交付金充当額		1,968	1,454			
	次年度繰越額		1,573	1,162			
	執行率(%) (B/A)						
	予算の状況の説明		108.4% 73.4%				
予定していた事業内容を全て執行することができた。不用額については、当初予算の見込み額より執行額が少なかった為の残である。							
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	派遣研修生数	目標	(2人)	(2人)	()	()	
		実績	2人	2人			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ブラジル・アルゼンチン・ボリビア・ペルー・アメリカ(ロサンゼルス)の5ヶ国に青年2人を派遣し、海外移住国の町人会との交流を通じて移民の歴史を学んだり、異文化を体験することで友好親善関係及び人材育成の推進に資することができた。帰国後は、町内の小・中学校で研修生2人による出前事業を実施し、児童生徒への国際理解教育に繋げることができた。また、町が主催するまつり等の諸行事にも積極的に参加し、町民との交流を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	派遣研修生数 報告書の作成 派遣後の活動回数:3回(海外移住者子弟等研修生との交流や町が主催するまつり等の諸事業への参加) 【参考指標】	目標	()	(2人)	(2人)	()	(20人)
		実績		2人	2人		
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成25年度においては前年度に引き続き、青年2人を南米等に派遣し海外移住国の町人会と交流を行って絆を深めることができた。平成26年度以降も引き続き、南米等に青年2人を派遣する予定である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・各国町人会での受入先の固定化は、受け入れ先の負担が懸念される。 ・研修生帰国後の活動状況等の調査をする必要がある。	・これまで町で受け入れた海外移住者子弟等研修生達で、ホームステイの受け入れができるよう協力の依頼を実施する。 ・上記研修生の開講式・閉講式等、町の国際交流に関するイベントに積極的に参加及び定期的に意見交換の場を設ける。
今後の取り組み方針		
・今後も年次的に南米等に2人派遣し、国際感覚豊かな青年を育成するとともに、現在、町が行っている海外移住者子弟等研修生受入事業の研修生等の交流や町などが主催する諸事業に積極的に参加し、町と移住国との懸け橋となるよう交流を深めていく。 ・小/中学校において、児童生徒が海外に興味をもてる体験型で出前事業を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,454</td><td>1,454</td><td>1,162</td><td>292</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,454	1,454	1,162	292	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,454	1,454	1,162	292											
金武町 1,454千円 補助金 1,454千円 海外派遣青年A 727千円 海外派遣青年B 727千円 (航空運賃、宿泊費等) (航空運賃、宿泊費等)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 研修生選考については、面接を行い決定しており妥当であったと考えている。 ○ 予算規模は、5ヶ国に派遣し事業を実施するために適正であった。 ○ 事業目的に即した必要な費用を交付している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 -	文化観光振興拠点施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ウ	
担当部課名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施 (予定)年度	平成 2 5 ~ 2 6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造		
事業内容	自然・スポーツ・各種イベント等、既存の地域観光資源と連携した魅力あるまちづくりの形成及び本島北部地域(やんばる)、本県の観光振興に寄与することを目的に、地域文化の継承発展や生涯学習の振興など文化力の向上を図るため、文化振興拠点施設の機能強化を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	(a)当初予算額		78,435			
		(b)予算現額		78,435			
		(c)増減額(b-a)					
		(d)繰越額	-				
		A . 計 (b+d)		78,435			
	B . 執行済額			76,125			
	うち交付金充当額			60,900			
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)			97.1%			
	予算の状況の説明		当初予算額と執行済額の差額は入札残金である。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	舞台照明設備改修工事の内、調光装置の設置	目 標	()	(設置工事の実施)	()	()	
		実 績		設置工事の完了			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当該事業の達成状況は、調光装置のデジタル化を図る事が出来たことにより、既存の施設では困難であった舞台演出が実施可能になった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	舞台照明設備改修工事の内、調光装置の設置	目 標	()	()	(設置工事の実施)	()	()
		実 績			設置工事の完了		
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・文化観光振興拠点施設機能強化事業のうち、調光装置の改修が終了し、残すところは照明器具だけとなっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・本町は現在スポーツ施設及び宿泊施設等の開発が進んでおり、その環境に沿った事業計画を行う事が可能になっている。	・施設利用実態を把握し、今後の地域ニーズに対応した事業計画の立案などを行う必要がある。また、数年後には利用者の増を見込んでおり(約2万人程度)、新規事業の誘致等も検討が必要になる。
今後の取り組み方針		
平成26年度も文化観光振興拠点施設機能強化(照明器具)を図り、その後文化とスポーツツーリズムを融合した様々な事業の実施により、観光客を含めた利用者の増加に繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
76,125	76,125	60,900	15,225	

金武町
76,125千円

→

工事請負費
76,125千円

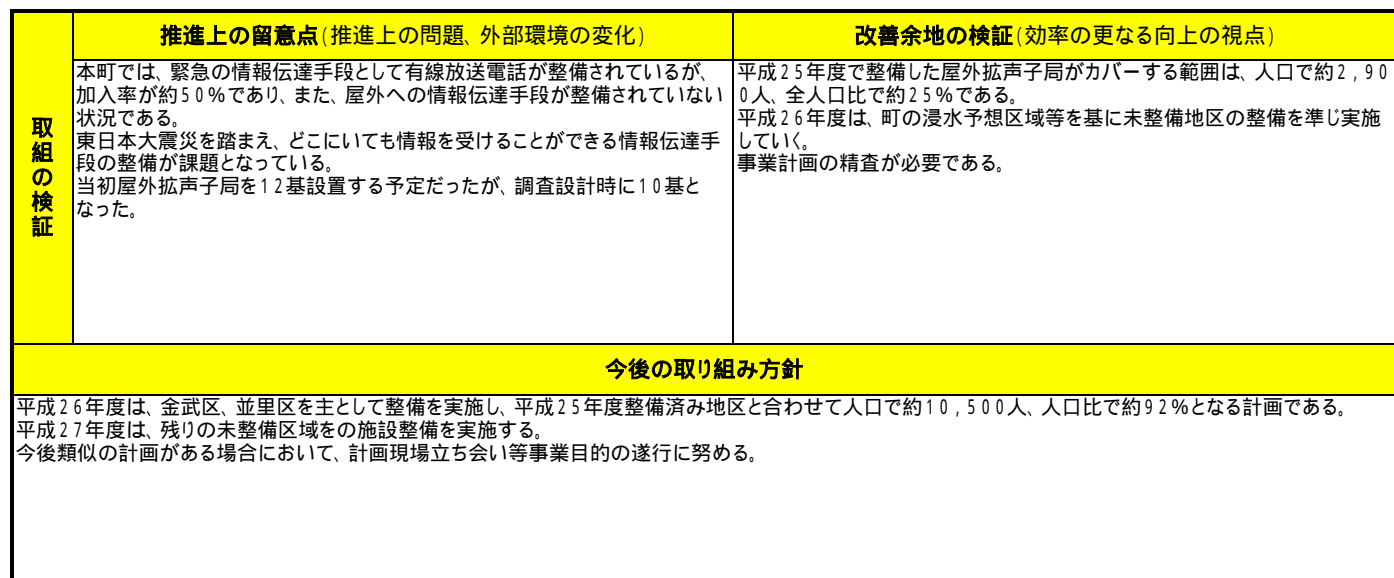
→

(有)宮里電水工
業・島電設(株)建
設工事共同企業体
(JV)
76,125千円

(照明設備改修工事)

資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 工事業者の選定については金武町建設工事競争入札参加者資格審査委員会において業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 予算規模については、積上する際に基準書や歩掛を参考に積算しているため適正であったと考えている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		7 - 金武町防災情報システム整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (4) - イ	
担当部課名		総務課		事業実施（予定）年度	平成 2 5 ~ 2 7 年度		社会リスクセーフティネットの確立	
					沖縄振興基本方針該当箇所		- 10 - (2)	
事業内容		大規模災害の発生に備え、災害に強く安全なまちづくりに向けて、迅速かつ正確な情報を住民や観光客等に伝達するため、防災情報システムを整備する。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算の状況	(a) 当初予算額		159,531			
			(b) 予算現額		159,531			
			(c) 増減額 (b-a)					
			(d) 繰越額	-				
			A . 計 (b+d)		159,531			
		B . 執行済額			156,796			
		うち交付金充当額			125,436			
		次年度繰越額						
		執行率（％）(B/A)			98.3%			
予算の状況の説明		当初予算額と執行済額の差額は入札残金である。						
活動目標（指標）及び達成状況		H25活動目標（指標）		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		防災情報システム整備に係る基本調査及び基本設計と整備工事の実施	目 標	()	(調査設計及び工事の実施)	()	()	
			実 績		実施済み			
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	防災情報システム整備に係る基本調査及び基本設計を実施 防災情報システム親局、中継局及び屋外拡声子局10基整備							
成果目標（指標）及び進捗状況		H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
		防災情報システムの整備に係る基本調査及び基本設計の実施 防災情報システム親局、中継局及び屋外拡声子局の整備	目 標	()	()	(12基)	()	()
			実 績			10基		
		〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明	基本調査及び基本設計を実施 防災情報システム親局、中継局及び屋外拡声子局10基整備 設計時に数量等の計画を見なおし屋外拡声子局10基の整備となった					



市町村名	金武町							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7 -	避難経路標識設置工事			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立			
事業内容	津波災害に備え、住民や観光客等の安全対策を講じるため、海岸沿いから津波避難場所までの避難経路を示す矢印及び海拔を示す標識を設置する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(b)予算現額		15,750				
		(c)増減額(b-a)		15,750				
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)		15,750				
	B.執行済額			15,721				
	うち交付金充当額			12,576				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)			99.8%				
	予算の状況の説明		29千円の執行残が発生しているが、事業内容は全て実施している。当初予算額と執行済額の差額は入札残金である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	避難経路標識設置数	目標	()	(93基)	()	()		
		実績		65基				
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	海拔及び避難先を示す標識(アルミ板)を65箇所に設置。 目標と実績の差は、標識設置工事の設計時に数量等の計画を見なおしたことによる減となっている。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	避難経路標識設置数	目標	()	()	(93基)	()	()	
		実績			65基			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	自然体験施設や海浜公園などにおいて、海拔と避難先の周知に使用されている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・東日本大震災をきっかけに防災に対する意識が高まる中、河川や海岸側から何処へ避難するのかという周知が必要となり、その課題を改善することを目的に海拔と避難先を指し示す標識の整備を行った。 ・道路幅員の狭さから、標識を設置できない箇所があった。 ・当初避難標識を93基設置する予定だったが、調査設計時に65基となった。	・さらなる防災意識の向上のため、フォローアップとして防災に関する啓発が更に必要と思われる。 ・支柱新設による標識設置が困難な箇所には、個人宅の壁や電力所有の電柱など既存のものを利用した方法を検討する。 ・事業計画の精査が必要である。
今後の取り組み方針		
・避難訓練や防災マップの配布など、避難経路及び避難先の認識を深め、災害発生時に自ら避難行動ができる人づくりを進める。 ・壁や電柱を利用した海拔・避難先の表示に向けて、個人や電力会社に協力を求めて対応する。 ・今後類似の計画がある場合において、計画現場立ち会い等事業目的の遂行に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>15,721</td><td>15,721</td><td>12,576</td><td>3,145</td><td></td></tr></table>			総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	15,721	15,721	12,576	3,145	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
15,721	15,721	12,576	3,145											
金武町 15,721千円 工事費 15,721千円 合同会社 比嘉総建工業 15,721千円 (標識設置工事)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目、	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・工事請負業者について、指名競争入札により決定したものであり妥当であるとする。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												